

# 2019 年度 履修の手引き

## 《人間健康学部人間健康学科 3 年生》

### 【目次】

はじめに	1
1. 進級と卒業	2
(1) 進級制限	
(2) 卒業までの流れ	
2. 履修上の注意点	3~5
(1) 単位制度	
(2) 科目名および配当年次	
(3) 授業科目群と科目区分	
(4) 科目番号	
(5) 履修登録単位数の上限	
(6) 再履修科目	
(7) 履修できない科目	
(8) 集中講義科目	
3. 履修登録に関するスケジュール	6
(1) 履修登録	
(2) 履修登録の変更	
(3) 履修登録の確認	
(4) 履修登録の削除	
4. 他学部・他学科履修制度の単位認定について	7
5. 検定試験取得級の単位認定について	8
6. 入学後に他大学等で修得した単位の認定について	9
7. GPA 制度	10
8. 民間資格の取得	11~14
9. 科目制限	15
10. 履修モデルの活用方法	16~24
人間健康学部人間健康学科 卒業要件	25

人間健康学部人間健康学科—カリキュラム

カリキュラムは  
 学生用ページ→2019 年度履修登録ページ→  
 所属学科の履修登録に必要な資料（カリキュラム表）に掲載

**「履修の手引き」はいつでも参照できるように 1 年間保存の上  
 後期履修ガイダンス時にも持参してください**

## はじめに

この『履修の手引き』には、皆さんが履修登録に際して留意しなければならないこと、また卒業するまでの流れや資格の取得等に必要な単位をどのように修得すればよいかが記載されています。

各ページを確認し、内容を十分に理解した上で各手続きを行なってください。また、不明な点があれば、教務課または演習担当者までお問い合わせください。

### (1) 履修登録を行なう前に

大学ではすべての結果が自分の責任になります。4年間の学修に関しても同じです。自分の時間割は、必修科目に加え自分が受講したい科目を選択し、自分自身で作成しなければなりません。さらに選んだ科目の登録手続き（履修登録）も自分で行ないます。『シラバス』およびこの『履修の手引き』を参考にしながら自主的な学修計画を立ててください。

### (2) 計画的な履修登録・学修を行なう理由

大学に4年間在学したら自動的に卒業できるわけではありません。本学での卒業要件単位（卒業するために必要な単位）は124単位です。この124単位はあくまでも最低限の単位数です。したがって、これを超えて履修することもできます。4年間大学に在学しても、この卒業要件単位数を下回る単位しか修得していない場合は、卒業できません。また、卒業要件単位を大幅に超える単位数を修得していたとしても、様々な条件をクリアしていない場合は卒業できません。4年間の学修を計画的に行なわなければ、就職先が内定していたとしても、単位不足のため卒業できない、ということが起こります。

### (3) グリーンカードの活用

下の表は、卒業や就職活動に向けて各学期で修得しておくべき単位数の目安を示したものです。ぜひ、グリーンゾーンの単位修得を目指してください。

ランク		1年		2年		3年		4年 残り単位数	備考
		前期末	後期末	前期末	後期末	前期末	後期末		
AA	グリーンゾーン	19以上	38以上	57以上	76以上	95以上	114以上	10以下	自信を持って就職活動ができる
A	グリーンゾーン	17～18	34～37	51～56	68～75	85～94	102～113	11～22	余裕を持って就職活動ができる
B	イエローゾーン	15～16	30～33	45～50	60～67	75～84	90～101	23～34	就職活動がやや大変になる
C	レッドゾーン	13～14	26～29	39～44	52～59	65～74	78～89	35～46	卒業に向けて努力が必要
D	レッドゾーン	12以下	25以下	38以下	51以下	64以下	77以下	47以上	このままでは卒業がきわめて困難

# 1. 進級と卒業

## (1) 進級制限

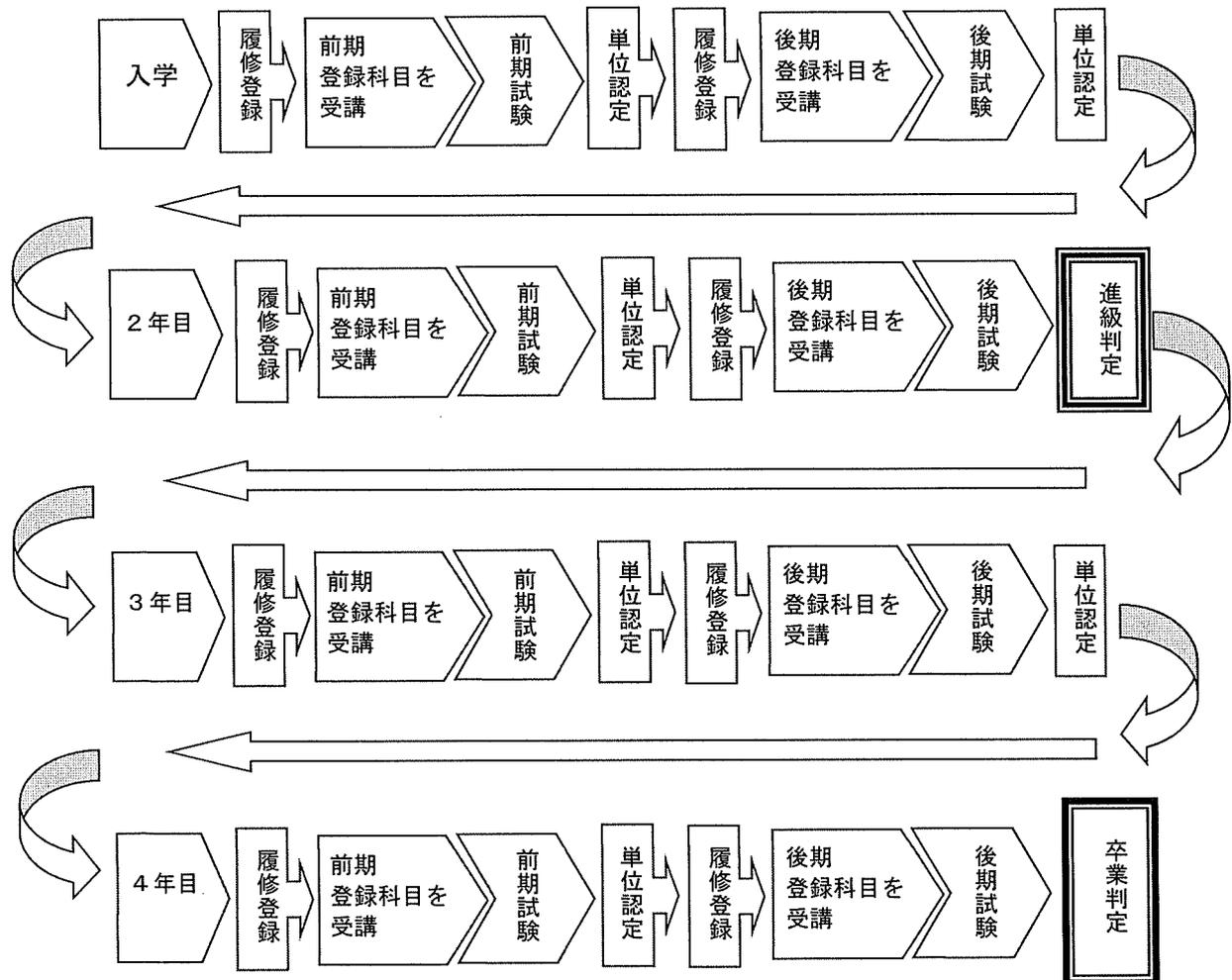
本学では、2年次から3年次への進級時に進級制限を設けています。以下の【進級の条件】を満たすことができなければ、原級留置（留年）となります（3年生に進級できません）。4年間で卒業するために、まずは3年生にスムーズに進級できるよう頑張りましょう。

### 【進級の条件】

2年次終了時点で修得単位数が40単位以上、かつ「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の単位を修得していること。

なお、修得単位数が30単位以上40単位未満で「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の単位を修得している学生は、教授会での審議を経て「仮進級」として進級を認められることがあります。仮進級した3年終了時の総修得単位数が50単位未満の場合は4年次に進級できません。

## (2) 卒業までの流れ



## 2. 履修上の注意点

### (1) 単位制度

単位制とは、一定の基準により単位が割りふられた授業科目を履修し、平素の学修状況および所定の試験またはレポートなどによる成績評価の結果、合格することによりその授業科目の単位を修得していく制度です。各授業科目の単位数は、巻末のカリキュラム表に掲載されています。なお、同じ科目名でも入学年度によって単位数の異なる場合があるので、必ず自分の入学年度適用のカリキュラム表を参照してください。

### (2) 科目名および配当年次

自分に適用されるカリキュラム表における開講科目の配当年次が、在籍学年より上級学年の科目は履修することができません。配当年次が、在籍学年および下級学年の開講科目は履修することができます。授業科目名が変更となっている場合、時間割にはそれぞれの入学年度適用カリキュラムの科目名が記載されています。

### (3) 授業科目群と科目区分

授業科目は、「全学共通科目」と「専門科目」の2つの群からなっています。またそれぞれの科目は、次の3つのいずれかに区分されます。

必修科目：卒業するまでに必ず単位を修得しなければならない科目

選択必修科目：指定された科目の中から所定の単位を修得しなければならない科目

選択科目：上記以外の科目で、卒業に必要な単位として算定される科目

### (4) 科目番号

各科目には、それぞれ記号がついています。学修段階や順序を示す番号を付けることで、カリキュラムの順次性や体系的が確認でき、体系的な履修を促すことを目的としています。科目番号の見方は以下のとおりです。

例： **HH 1 1 01** = 人間学概論

科目の属性 (別表1参照)	科目の順次性 (別表2参照)	カリキュラムにおける科目の位置づけ (別表3参照)	科目区分内での 通し番号
<b>HH</b> (人間健康学科)	<b>1</b> (1年次または1・2年次に配当されている科目)	<b>1</b> (基礎科目)	<b>01</b> (区分内の1番目の科目)

この部分を見れば自分が履修可能かどうか分かります。1～4は番号が若いほどカリキュラム内でコアとなる科目として位置づけられています。

<別表 1> 科目の属性

記号	付加情報	記号	付加情報
LA	全学共通科目	EC	教育学部専門科目
RB	地域ビジネス学科専門科目	TL	(中高)教職課程科目
HH	人間健康学科専門科目	IB	国際ビジネス学科専門科目
EL	国際ビジネス学科実践英語科目		

<別表 2> 科目の順次性

番号	付加情報	番号	付加情報
1	1年次または1・2年次に 配当されている科目	4	4年次に配当されている科目
2	2年次または2・3年次に 配当されている科目	9	「海外研修 A～C」 「資格取得科目」
3	3年次または3・4年次に 配当されている科目		

<別表 3> カリキュラムにおける各科目の位置づけ  
(全学共通科目)

番号	付加情報	番号	付加情報
1	東邦基礎力科目	3	スキル科目
2	教養科目	4	キャリア科目

(専門科目)

番号	付加情報	番号	付加情報
1	基礎科目	4	関連科目
2	基幹科目	8	実務科目
3	展開科目	9	ゼミナール

## (5) 履修登録単位数の上限

本学科では、1～4年生について履修登録単位数の上限を前・後期それぞれ24単位としています。24単位を超えて履修登録することはできません。ただし、以下の場合は、この制限が適用されず履修登録をすることができます。

- ・集中講義科目を履修するとき
- ・教職課程科目の「教職に関する科目」を履修するとき（課程登録をした学生のみ）  
2015年度以前の入学生にのみ下記の場合も適用されます。
- ・必修科目を再履修するとき
- ・その学生が4年生のとき

## (6) 再履修科目

再履修とは、不合格になった科目を次学期以降に再び履修することをいいます。

### 【再履修しなければならない科目】

不合格になった科目が卒業の要件となる必修科目・選択必修科目の場合は、再履修して単位を修得しなければなりません。（例として必修科目：人間学概論・入門コンピュータ・基礎演習Ⅰ・Ⅱ・総合演習Ⅰ・Ⅱ・専門演習Ⅰ～Ⅳ、選択必修科目：外国語科目など）特に外国語科目は、自身での追加登録が必要です。

### 【再履修科目の優先履修】

再履修科目と在籍学年の配当科目が時間割上重なっている場合は、配当年次の低い再履修科目を優先して履修する必要があります。

### (7) 履修できない科目

異なるカリキュラムの科目や、他学部・他学科の科目（「他学部・他学科開放科目」は除く）は履修できません。また、単位を既に修得した科目を再度履修することはできません。同一名称で複数クラス開講されている科目は、授業担当教員や開講時限が異なっても、重複して履修することはできません。

### (8) 集中講義科目

科目名	学年配当	担当者	日程
総合野外活動実習Ⅱ (マリン)	2年	中野	未定
総合野外活動実習Ⅲ (スキー)	2年	葛原	未定
レクリエーション インターンシップ	3年	石川	未定

### 3. 履修登録に関するスケジュール

#### (1) 履修登録

履修登録はコンピュータを利用して行ないます。履修登録の時間は指定されていますので、ガイダンス日程表で確認してください。

#### (2) 履修登録の変更

以下の期間に履修登録の追加・取消をコンピュータで行なうことができます。ただし、変更が認められない科目もあります。TOPOS または 掲示でお知らせしますので、必ず確認した上で変更してください。

期 間 (前期)	時 間	場 所
4月8日(月)～4月12日(金)	9時～16時30分	L棟PC

#### (3) 履修登録の確認

履修登録が正しく行なわれたかどうかを以下の期間に確認してください。掲示での連絡や履修登録結果の配付はしませんので、必ず TOPOS で確認してください。内容に誤りや不明な点があった場合は、必ず教務課に申し出てください。この確認期間中に申し出がない場合は、履修登録の手続きが全て正しく完了したものとみなします。

期 間 (前期)	時 間	場 所
4月15日(月)～4月19日(金)	9時～16時30分	教務課窓口

#### (4) 履修登録の削除

GPA 制度に付随して履修登録削除期間を設けています。履修を削除すると、履修登録単位数は減りますが、GPA の値は大きくなります。(GPA 制度 (3) GPA の計算方法を参照) 以下の期間に、必修科目以外の科目の履修登録の削除を認めます。ただし、一度削除した科目を復活することはできませんので、注意してください。集中講義は、5 回目の授業までは、履修登録の削除が行えます。また、やむを得ない理由により 10 回以上の出席が困難な状況と認められる場合も履修登録の削除が行えます。

期 間 (前期)	時 間	場 所
4月15日(月)～5月17日(金)	9時～16時30分	教務課窓口

※後期履修登録の詳細は後期のガイダンス時に資料を配付します。

## 4. 他学部・他学科履修制度の認定について

### (1) 他学部・他学科科目履修制度とその目的

「他学部・他学科科目履修制度」とは、自分の所属する学部学科以外の科目を履修する制度のことです。他学部・他学科履修で修得した単位は、自分の所属する学部の定める条件で卒業要件単位数に算入することができます。自分の興味や目的に応じて科目を選択し、積極的に学ぶことで、自分自身の可能性を広げることができます。

なお、履修する科目の単位数は各学期に履修登録できる上限単位数（24単位）に含まれます。

### (2) 受講料

受講料は無料です。

### (3) 受講可能科目

開設学部	科目名	担当者	開設期	曜日 時限	単位数	配当 年次
経営学部	地域とスポーツ	大勝	前期	水曜 3限	2単位	2・3年

### (4) 履修手続き

「他学部・他学科科目履修願（教務課備付）」を4月12日（金）までに提出してください。ただし、開設学部の履修状況により申し込みをしても履修できない場合があります。

### (5) 単位認定

履修できる単位数は、人間健康学部の学生は16単位を上限とし、卒業要件として認められる単位数は8単位までとします。（キャンパスガイド「本学の他学部又は他学科における授業科目の履修等に関する規程」参照）

## 5. 検定試験取得級の単位認定について

本学では、検定試験合格のための努力と成果を評価し、在学中に合格した検定級に相当する本学開設の科目の単位を認定します。

検定試験合格を本学在学中の目標の一つとして掲げ、達成できるよう頑張ってください。検定試験合格のための努力は必ず皆さんの自信につながることでしょう。

### <対象となる検定試験>

認定科目	単位数	対象となる資格	級等
英語 I	1 単位	実用英語技能検定	2 級以上
		TOEIC	500 点以上
英語 II	1 単位	TOEFL	45 点 (iBT) 以上

\*2015 年度以前の入学生に関しては、愛知東邦大学学生用ページの規程か教務課で確認してください。

### <申請方法>

本学所定の申請書に必要事項を記入して、「検定試験合格証書」または「合格通知」のコピーを申請書に添付し、教務課へ提出してください。また、同一の検定で複数の級を取得している場合は、取得した最も上位の級にて手続きを行なってください。

### <検定取得級の認定範囲>

各種検定試験で上位級を取得している場合は、その級の単位を認定するとともに同一検定試験の下位級の単位も同時に認定されます。

### <申請期間>

各種検定試験合格発表後 1 ヶ月以内です。この期間以降は申請しても単位認定はされません。希望者は必ず期間内に手続きしてください。

### <認定科目の単位修得学期>

認定された単位は、その検定試験の実施日を基準にして、本学における前期または後期の修得単位とします。

## 6. 入学後に他大学等で修得した単位の認定について

愛知県単位互換事業開放科目（愛知県内の四年制大学）および科目等履修生開放科目（その他の大学）で修得した単位が、本学の単位として認定される場合があります。

ただし、愛知県単位互換事業開放科目の履修は、2年生以上が対象となります。

### (1) 当該科目に相当する科目が本学で開講されている場合

#### <単位認定可否>

本学の科目に読み替えて単位が認定されます。なお、認定された単位は卒業要件に含まれます。

#### <認定単位数>

最大 60 単位を上限として認定します。

### (2) 当該科目に相当する科目が本学で開講されていない場合で、かつ、本学の教育課程(カリキュラム)を補完し、本学の教育課程の幅を広げるのに有益な科目の場合

#### <単位認定可否>

他大学の科目名をもって本学の「全学共通科目」または「専門科目」として単位が認定されます。なお、認定された単位は卒業要件に含まれます。

#### <認定単位数>

最大 14 単位を上限として認定します。

## 7. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) 制度とは、科目ごとの成績評価を点数にかえて、全履修科目の平均を算出するものです。GPA によって自分の学修成果を自分自身で把握することができるメリットがあり、本学では科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を修得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学修成果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。また、GPA は学内の様々な選考の指標となり、場合によっては、履修指導や退学勧告を受けることがありますので、自分の GPA を常に意識し、学修計画を立ててください。

### (1) GPA 制度による成績評価

GPA 制度による成績評価は、以下の表の通りです。

素点	評価	GP
90 点～100 点	A+	4 点
80 点～89 点	A	3 点
70 点～79 点	B	2 点
60 点～69 点	C	1 点
0 点～59 点	D	0 点
欠席・棄権	K	0 点
失格	S	0 点

### (2) GPA 制度の対象科目

【対象となる科目】履修登録した全科目（教職課程登録者は、教職関係科目を含む）

【対象とならない科目】評価を示さず、認定によって単位を修得した科目

※GPA 値を下げないために、履修放棄した場合は、必ず「履修削除」を行ってください。

### (3) GPA の計算方法

【GPA の計算方法】（履修登録単位数×GP）の合計／履修登録単位数の合計＝GPA

【運用例】

科目名	履修登録単位数 (a)	素点	評価	GP (b)	a×b
基礎演習 I	2	90	A+	4	8
●●学	2	70	B	2	4
●●論	2	50	D	0	0
●●演習	1	80	A	3	3
●●論	2	欠席	K	0	0
合計	9				15
平均					1.7

上記太枠が、GPA となります。

## 8. 民間資格の取得

本学は、さまざまな民間資格の認定校となっています。以下の資格取得を目指す場合、申請等が必要になりますので、よく読んでください。

### (1) CSCS (NSCA認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト)

CSCSとは、「認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト」という名前のおり、ストレングス(筋力)トレーニング、コンディショニングに関するスペシャリスト(専門職)を認定する資格です。

#### <資格申請条件>

資格取得に必要な科目の全ての単位を修得または、修得予定の学生であり、かつ、4年制大学卒業(見込み)以上であることが出願条件となっている「NSCA ジャパン認定校特別認定試験」(以下、特別認定試験)に合格することが条件です。また、特別認定試験受験年度の6月30日までにNSCA ジャパンの学生会員として入会していなければいけません。さらに、CPR&AED資格を事前に取得しておく必要があります。

#### <資格取得に必要な科目> (19科目)

解剖学、生理学、救急処置法、運動生理学、栄養学、エクササイズ指導方法論、トレーニング科学、バイオメカニクス、統計学/心理統計学、トレーニング実習、プログラムデザイン、フィットネステスト・評価、ストレングス・コンディショニング実習、健康スポーツ心理学、スポーツマネジメント、コーチング論、スポーツ医学、基礎アスレチックトレーニング、アスレチックトレーニング実習

\*下線科目は推奨科目です。

\*上記の科目を履修するために必要な科目が上記の他にあります(科目制限参照)

#### <資格申請方法>

特別認定試験合格後、本学の卒業証明書を提出することで資格を取得できます。

#### <費用>

¥49,800(特別認定試験受験料:¥39,000、学生会員年会費:¥10,800)ただし受験者数によって受験料は変更になります。

\*2016年4月からコンピュータベース試験(CBT)に移行しました。

### (2) レクリエーションインストラクター

レクリエーションインストラクターとは、地域、学校、企業などでレクリエーションの指導を行う専門家を認定する資格です。

#### <資格申請条件>

資格取得に必要な全科目の単位を修得または修得見込み、卒業見込みの学生

#### <資格要件科目> (4科目)

レクリエーション論、総合野外活動実習I、レクリエーション実技、レクリエーションインターンシップ

#### <資格申請方法>

申請書類を記入のうえ、教務課を通じて日本レクリエーション協会へ申請します。

#### <費用>

¥16,457(公認料:¥5,142、登録料:¥11,315)

#### <資格申請期日>

12月上旬(予定)

### (3) キャンプインストラクター

キャンプインストラクターとは、総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えられることを証明する資格です。

#### <資格申請条件>

資格取得に必要な全科目の単位を修得または、修得見込みの学生

#### <資格要件科目> (1科目)

総合野外活動実習 I (キャンプ)

\*本年度の開講はありません。

#### <資格申請方法>

申請書類を記入のうえ、教務課を通じて日本キャンプ協会へ申請します。

#### <費用>

¥15,000 (受験料: ¥1,000、公認料: ¥4,000、登録料: ¥1,000、入会金: ¥2,000、年会費: ¥5,000、手数料、¥2,000)

#### <資格申請期日>

別途指示

### (4) 障がい者スポーツ指導員 (初級)

障がい者スポーツ指導員とは、障害を抱えた人が体を鍛えたり、スポーツを楽しんだりするのをサポートするため、障害に応じた適切な指導ができることを証明する資格です。

#### <資格申請条件>

資格取得に必要な全科目の単位を修得していること。

#### <資格要件科目> (1科目)

障害者スポーツ論

#### <資格申請方法>

教務課を通じて協議会あてに資格取得申請します。

#### <費用>

¥9,300 (申請料・認定料: ¥5,500、登録料: ¥3,800)

#### <資格申請期日>

卒業確定後 60 日以内

### (5) 認定心理士

認定心理士とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得していることを日本心理学会が証明する資格です。

#### <資格申請条件>

資格取得に必要な下記の科目を修得します (図 1 参照)。

面接試験、筆記試験、実務審査及び更新の必要はありません。

#### <資格申請方法>

認定心理士の資格取得希望者は、日本心理学会ホームページ (<https://psych.or.jp>) 上の“申請書類”のページから申請書類と申請の手引きをダウンロードしてください。申請書類に必要事項を記入し、以下の審査料とともに認定委員会に送付すると所定の審査の上、認定の可否が通知されます。認定された後、認定料を送金することで資格を取得できます。

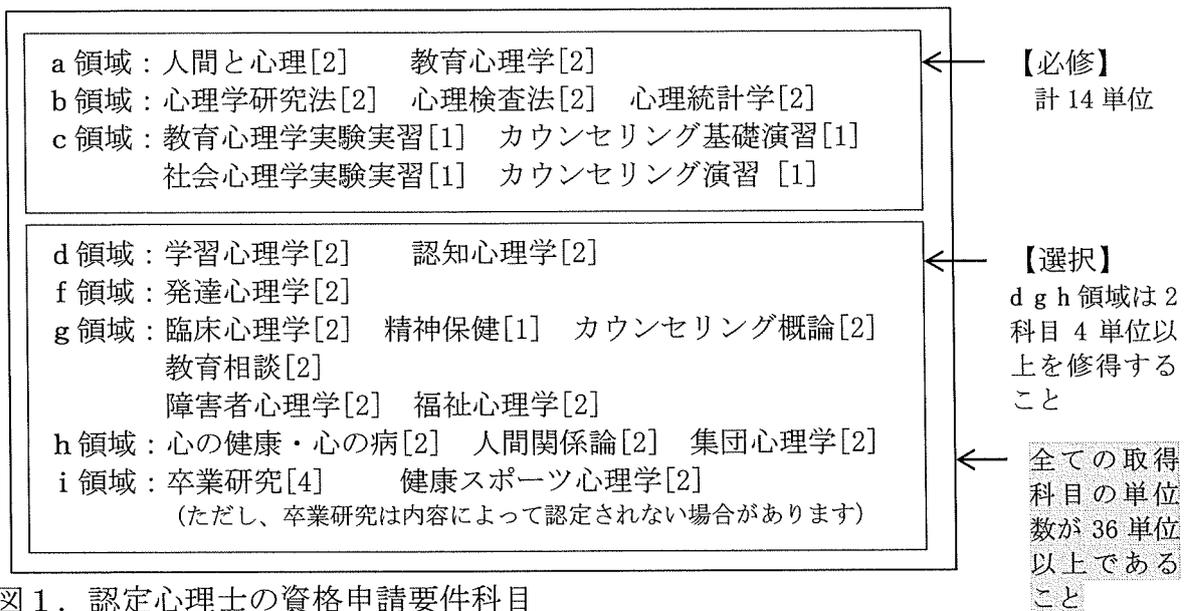


図 1. 認定心理士の資格申請要件科目  
[ ]内は日本心理学会認定単位数

### <費用>

¥40,000 (審査料：¥10,000、認定料：¥30,000)

### (6) ピアヘルパー

ピアヘルパーとは、カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけたことを証明する資格です。

#### <資格申請条件>

本学で実施する試験（毎年 1 回、12 月から 2 月頃）を受験し、かつ資格取得に必要な下記の 3 科目 6 単位を修得または、修得見込みの学生であること

#### <資格要件科目> (以下の科目から 3 科目 6 単位を修得)

心の健康・心の病、人間と心理、発達心理学、精神保健、臨床心理学、教育心理学、カウンセリング概論、カウンセリング基礎演習、カウンセリング演習、人間関係論

#### <資格申請方法>

試験に合格し、資格申請要件科目を修得した学生は、日本教育カウンセラー協会から認定書が交付されます。

#### <費用>

¥4,800 (受験料)

### (7) 健康管理士一般指導員

健康管理士一般指導員とは、健康管理、予防医学全般にわたって広く学習し、栄養、メンタルヘルス、運動などの正しい知識に基づいて、たくさんの人々へ健康指導をし、アドバイスを行っていく資格です。

#### <資格申請条件>

資格取得に必要な下記の科目の単位を修得し、本学で実施する認定試験に合格すること

**<資格要件科目>合計 11 科目**

人間と健康、食と健康、医療概論、運動生理学、救急処置法、栄養学、衛生学、健康管理論、環境保健論、看護学、精神保健

**<資格申請方法>**

認定試験（3年後期終了時に実施予定）合格後、日本成人病予防協会より認定書が送付されます。

**<費用>**

¥16,000（受験料：¥5,000、登録料：¥11,000）

注）：テキスト、日本成人病予防協会発行『健康管理士一般指導員テキスト1～6』（養成校指定専用教材）、6冊を1年次に一括購入すること（テキスト：¥5,000）

## 9. 科目制限

履修する上で、他の科目の単位修得が前提になっている科目がありますので、計画的にかつ慎重に履修科目を決定してください。  
 太字科目を履修するには、細字科目の単位がすべて取れている必要があります。ただし、1年ずらしての履修も可能です。

	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	・入門コンピュータ	・基礎コンピュータ	・トレーニング科学 ・統計学(心理統計学)	・心理統計学 (または統計学)		・フィットネスタ&評価		
	・解剖学 ・生理学			・スポーツ医学				
	・解剖学 ・生理学		・救急処置法	・スポーツ医学		・基礎アスレチックトレーニング ・アスレチックトレーニング実習		
	・解剖学 ・生理学		・運動生理学 ・トレーニング科学 ・バイオメカニクス					
	・解剖学 ・生理学		・トレーニング科学	・トレーニング実習				
	・解剖学 ・生理学		・トレーニング科学	・トレーニング実習	・プログラムデザイン ・ストレングス& コンディショニング実習			
				・カウンセリング概論	・カウンセリング基礎演習			
				・カウンセリング概論	・カウンセリング基礎演習			・カウンセリング演習

## 10. 履修モデルの活用方法

次ページ以降に掲載されている8通りの「履修モデル」の中から、自分の希望や目標、将来就職したい分野に関連のあるモデルを1つ選び、自分自身の4年間の学修計画を立てるときの参考にしてください。「履修モデル」以外の目標や、卒業後の進路を考えている人は、まず目標を明確にし、それに役立つような科目を選んで自分なりの履修計画を立てましょう。

### (1) スポーツトレーナーコース【A-1】

公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデルです。

### (2) スポーツトレーナーコース+教職履修モデル【A-2】

中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデルです。

### (3) スポーツ指導者コース【B-1】

地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者などに対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人のための履修モデルです。

### (4) スポーツ指導者コース+教職履修モデル【B-2】

中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者など対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人のための履修モデルです。

### (5) 健康づくり指導者コース【C-1】

地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援することを目標とする人のための履修モデルです。

### (6) 健康づくり指導者コース+教職履修モデル【C-2】

中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援することを目標とする人のための履修モデルです。

### (7) 心理・カウンセリングコース【D-1】

公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学の知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデルです。

### (8) 心理・カウンセリングコース+教職履修モデル【D-2】

中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学の知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデルです。

スポーツトレーナーコース 履修モデル【A-1】

【A-1】公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデル

	1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ 2	基礎演習Ⅱ 2	総合演習Ⅰ 2	総合演習Ⅱ 2						
	教養科目			統計学 2							
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2							
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2	基礎コンピュータ 2							
	キャリア科目										
	資格取得科目										
	単位小計	6	6	4	2	0	0	0	0	0	18 /32
専門科目	基礎科目	人間学概論 2									
	基幹科目	解剖学 2		健康スポーツ心理学 2							
		生理学 2									
	展開科目			運動生理学 2	トレーニング実習 1	コーチング論 2	フィットネステスト・評価 2				
				バイオメカニクス 2	エクササイズ指導方法論 2	プログラムデザイン 2	基礎アスレチックトレーニング 2				
				救急処置法 2	スポーツ医学 2	ストレンクス・コンディショニング実習 1	アスレチックトレーニング実習 1				
			トレーニング科学 2								
			スポーツマネジメント 2								
ゼミナール					栄養学 2						
					心理統計学 2						
単位小計	6	0	12	9	7	7	2	6	49 /84		
履修単位数合計	12	6	16	11	7	7	2	6	67 /124		

\* NSCA認定ストレンクス&コンディショニングスペシャリスト (GSCS) 資格に関する科目

必須科目(19科目): 解剖学、生理学、救急処置法、運動生理学、栄養学、エクササイズ指導方法論、トレーニング科学、バイオメカニクス、統計学/心理統計学、トレーニング実習、プログラムデザイン、フィットネステスト・評価、ストレンクス・コンディショニング実習、健康スポーツ心理学、スポーツマネジメント、コーチング論、スポーツ医学、基礎アスレチックトレーニング、アスレチックトレーニング実習

スポーツトレーナーコース+ 教職履修モデル【A-2】

【A-2】中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデル

	1 年次 (2017年度)		2 年次 (2018年度)		3 年次 (2019年度)		4 年次		修得単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習 I 2	基礎演習 II 2	総合演習 I 2	総合演習 II 2						
	教養科目	憲法 2	(憲法)	統計学 2							
		ボランティア論 2									
		健康スポーツ実習 2	(健康スポーツ実習)								
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2							
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2	基礎コンピュータ 2							
	キャリア科目										
資格取得科目											
単位小計	12	6	4	2	0	0	0	0	0	24 /32	
専門科目	基礎科目	人間学概論 2									
		教育学概論 2									
	基幹科目	解剖学 2		健康スポーツ心理学 2							
		生理学 2						精神保健 2			
		教育心理学 2									
				社会福祉概論 2							
	展開科目			運動生理学 2	トレーニング実習 1	コーチング論 2	フィットネステスト・評価 2				
				バイオメカニクス 2	エクササイズ指導方法論 2	プログラムデザイン 2	基礎アスレチックトレーニング 2				
				救急処置法 2	スポーツ医学 2	ストレングス・コンディショニング実習 1	アスレチックトレーニング実習 1				
				トレーニング科学 2							
		スポーツ原理 2		衛生学 2		学校保健 2					
			総合野外活動実習Ⅰ※1 (キャンプ) 1	総合野外活動実習Ⅲ※1 (スキー) 1	総合野外活動実習Ⅱ※1 (マリン) 1						
		専門スポーツ実習(器械運動) 1	専門スポーツ実習(陸上競技) 2	専門スポーツ実習(剣道) 1	専門スポーツ実習(水泳) 1	専門スポーツ実習(柔道) 1	専門スポーツ実習(球技) 2				
		小児保健論 2	スポーツマネジメント 2	栄養学 2							
ゼミナール					心理統計学 2	教育相談 2					
単位小計	11	6	18	14	11	13	2	6	6	81 /84	
履修単位数合計	23	12	22	16	11	13	2	6	105	124	
教職に関する科目		教職概論 2	教育経営論 2	教育経営論演習 2	保健体育教育法Ⅰ 4	保健体育教育法Ⅱ 4	教育実習研究 2	教職実践演習 2			
		道徳教育論 2	教育課程論 2	特別支援教育論 2	教育方法論 2	特別活動研究 2	教育実習Ⅰ(教育実習Ⅱ)※2 4				
教職科目単位数合計	0	4	4	4	8	6	2	2	2	30	

※1: 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中2科目を選択 / ※2: 教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

\*NSCA認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS) 資格に関する科目  
 必須科目(19科目): 解剖学、生理学、救急処置法、運動生理学、栄養学、エクササイズ指導方法論、トレーニング科学、バイオメカニクス、統計学/心理統計学、トレーニング実習、プログラムデザイン、フィットネステスト・評価、ストレングス・コンディショニング実習、健康スポーツ心理学、スポーツマネジメント、コーチング論、スポーツ医学、基礎アスレチックトレーニング、アスレチックトレーニング実習

スポーツ指導者コース 履修モデル【B-1】

【B-1】地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者などに対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人のための履修モデル

	1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ 2	基礎演習Ⅱ 2	総合演習Ⅰ 2	総合演習Ⅱ 2						
	教養科目										
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2							
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2								
	キャリア科目										
	資格取得科目										
単位小計	6	4	2	2	0	0	0	0	0	14 /32	
専門科目	基礎科目	人間学概論 2									
	基幹科目	解剖学 2		健康スポーツ心理学 2	生涯スポーツ論 2						
		生理学 2									
	展開科目			運動生理学 2	トレーニング実習 1	コーチング論 2					
				救急処置法 2							
		スポーツ原理 2	野外運動論 2	衛生学 2							
			総合野外活動実習Ⅰ(キャンプ) 1	総合野外活動実習Ⅲ(スキー) 1	総合野外活動実習Ⅱ(マリン) 1						
		スポーツ社会学 2			専門スポーツ実習(球技) 2						
		スポーツマネジメント 2			レクリエーション論 2	レクリエーション実技 1					
						レクリエーションインターンシップ 1					
ゼミナール					専門演習Ⅰ 2	専門演習Ⅱ 2	専門演習Ⅲ 2	専門演習Ⅳ 2	卒業研究 4	2	
単位小計	6	2	15	6	7	6	2	2	6	50 /84	
履修単位数合計	12	6	17	8	7	6	2	6	64	124	

\* キャンプインストラクター資格要件科目(1科目) : 総合野外活動実習Ⅰ

\* レクリエーションインストラクター資格要件科目(4科目) : レクリエーション論、総合野外活動実習Ⅰ、レクリエーション実技、レクリエーションインターンシップ、学内外での6回の実習

スポーツ指導者コース+ 教職履修モデル【B-2】

【B-2】 中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者など対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人のための履修モデル

	1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数							
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ 2	基礎演習Ⅱ 2	総合演習Ⅰ 2	総合演習Ⅱ 2											
	教養科目	憲法	2 (憲法)													
		メディア論	2													
		健康スポーツ実習	2 (健康スポーツ実習)													
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2												
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2													
	キャリア科目															
資格取得科目																
単位小計	12	4	2	2	0	0	0	0	0	20 /32						
専門科目	基礎科目	人間学概論	2													
		教育学概論	2													
	基幹科目	解剖学	2		健康スポーツ心理学	2										
		生理学	2					精神保健	2							
		教育心理学	2		社会福祉概論	2										
	展開科目				運動生理学	2	トレーニング実習	1	コーチング論	2						
					バイオメカニクス	2										
					救急処置法	2										
					トレーニング科学	2										
				スポーツ原理	2	衛生学	2	野外運動論	2	学校保健	2					
				総合野外活動実習Ⅰ※1 (キャンプ)	1	総合野外活動実習Ⅲ※1 (スキー)	1	総合野外活動実習Ⅱ※1 (マリッジ)	1							
				スポーツ社会学	2	専門スポーツ実習(水泳)	1									
	専門スポーツ実習(器械運動)	1	専門スポーツ実習(陸上競技)	1	専門スポーツ実習(剣道)	1	専門スポーツ実習(柔道)	1	専門スポーツ実習(球技)	2						
		小児保健論	2	スポーツマネジメント	2		レクリエーション論	2	レクリエーション実技	1						
							レクリエーションインターンシップ	1								
							教育相談	2								
ゼミナール							専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2		
													卒業研究	4		
単位小計	11	6	18	6	12	10	2	6	2	6	71 /84					
履修単位数合計	23	10	20	8	12	10	2	6	2	6	91 /124					
教職に関する科目		教職概論	2	教育経営論	2	教育経営論演習	2	保健体育教育法Ⅰ	4	保健体育教育法Ⅱ	4	教育実習研究	2	教職実践演習	2	
		道徳教育論	2	教育課程論	2	特別支援教育論	2	教育方法論	2	特別活動研究	2	教育実習Ⅰ(教育実習Ⅱ)※2	4			
教職科目単位数合計	0	4	4	4	4	8	6	2	2	2	2	30				

※1：総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中2科目を選択 / ※2：教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

\* キャンプインストラクター資格要件科目(1科目)：総合野外活動実習Ⅰ

\* レクリエーションインストラクター資格要件科目(4科目)：レクリエーション論、総合野外活動実習Ⅰ、レクリエーション実技、レクリエーションインターンシップ、学内外での6回の実習

### 健康づくり指導者コース 履修モデル【C-1】

【C-1】 地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援することを目標とする人のための履修モデル

		1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数											
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ	2	基礎演習Ⅱ	2	総合演習Ⅰ	2	総合演習Ⅱ	2												
	教養科目	経済学	2																		
		食と健康	2																		
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語	2	外国語	2															
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ	2																	
	キャリア科目																				
	資格取得科目																				
単位小計		10		4		2		2		0		0		0						0 18 /32	
専門科目	基礎科目	人間学概論	2																		
		人間と健康	2																		
	基幹科目	解剖学	2						健康管理論	2											
		生理学	2																		
		教育心理学	2			発達心理学	2	学習心理学	2	社会保障論	2	精神保健	2								
	展開科目				児童家庭福祉	2	社会福祉概論	2	地域福祉論	2	環境保健論	2									
							運動生理学	2													
							救急処置法	2													
							総合野外活動実習Ⅰ(キャンプ)	1	衛生学	2											
					医療概論	2			栄養学	2											
								公的扶助論	2	レクリエーション論	2	レクリエーション実技	1								
ゼミナール								障害者福祉論	2		レクリエーションインターンシップ	1									
								社会福祉援助技術論	2		看護学	2									
単位小計		10		4		9		14		10		8		2						6 63 /84	
履修単位数合計		20		8		11		16		10		8		2							81 /124

\* 健康管理士資格要件科目(11科目) : 食と健康 人間と健康、医療概論、運動生理学、健康管理論、精神保健、環境保健論、救急処置法、衛生学、栄養学、看護学

\* レクリエーションインストラクター資格要件科目(4科目) : レクリエーション論、総合野外活動実習Ⅰ、レクリエーション実技、レクリエーションインターンシップ、学内外での6回の実習

\* 社会福祉主事として任用されるための科目 : 地域福祉論、社会福祉概論、児童家庭福祉、社会福祉援助技術論、精神保健、障害者福祉論、社会保障論、公的扶助論、看護学、経済学、栄養学、教育心理学、発達心理学、学習心理学、以上の科目から3科目以上履修すること

健康づくり指導者コース+ 教職履修モデル【G-2】

【G-2】 中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援することを目標とする人のための履修モデル

	1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数							
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ 2	基礎演習Ⅱ 2	総合演習Ⅰ 2	総合演習Ⅱ 2											
	教養科目	(憲法)	憲法 2													
		ボランティア論	2													
		食と健康 (健康スポーツ実習)	2	健康スポーツ実習 2												
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2												
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2													
	キャリア科目															
資格取得科目																
単位小計	10	8	2	2	0	0	0	0	0	22 / 32						
専門科目	基礎科目	人間学概論	2													
		人間と健康	2													
		教育学概論	2													
	基幹科目	解剖学	2		健康スポーツ心理学	2		健康管理論	2							
		生理学	2													
		教育心理学	2		発達心理学	2	学習心理学	2	社会保障論	2	精神保健	2				
	展開科目			児童家庭福祉	2	社会福祉概論	2	地域福祉論	2	環境保健論	2					
						運動生理学	2	トレーニング実習	1							
						バイオメクス	2									
						救急処置法	2									
					トレーニング科学	2										
			スポーツ原理	2	衛生学	2			学校保健	2						
					総合野外活動実習Ⅰ※1(キャンプ)	1	総合野外活動実習Ⅲ※1(スキー)	1	総合野外活動実習Ⅱ※1(マリ)	1						
					スポーツ社会学	2	専門スポーツ実習(水泳)	1								
		専門スポーツ実習(器械運動)	1	専門スポーツ実習(陸上競技)	2	専門スポーツ実習(剣道)	1	専門スポーツ実習(ダンス)	1	専門スポーツ実習(柔道)	1	専門スポーツ実習(球技)	2			
			小児保健論	2	スポーツマネジメント	2	栄養学	2	レクリエーション論	2	レクリエーション実技	1				
		医療概論	2			障害者福祉論	2			レクリエーションインテンシブ	1					
						公的扶助論	2			看護学	2					
						社会福祉援助技術論	2	教育相談	2							
ゼミナール							専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	卒業研究	4
単位小計	13	10	20	18	14	14	12	2	2	6	6	95	/ 84			
履修単位数合計	23	18	22	20	14	12	2	6	2	117	/ 124					
教職に関する科目		教職概論	2	教育経営論	2	教育経営論演習	2	保健体育教育法Ⅰ	4	保健体育教育法Ⅱ	4	教育実習研究	2	教職実践演習	2	
		道徳教育論	2	教育課程論	2	特別支援教育論	2	教育方法論	2	特別活動研究	2	教育実習Ⅰ(教育実習Ⅱ)※2	4			
教職科目単位数合計	0	4	4	4	8	6	2	2	2	2	30					

※1: 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中2科目を選択 / ※2: 教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

\* 健康管理士資格要件科目(11科目): 食と健康 人間と健康、医療概論、運動生理学、健康管理論、精神保健、環境保健論、救急処置法、衛生学、栄養学、看護学

\* レクリエーションインストラクター資格要件科目(4科目): レクリエーション論、総合野外活動実習Ⅰ、レクリエーション実技、レクリエーションインテンシブ、学内外での6回の実習

\* 社会福祉主事として任用されるための科目: 地域福祉論、社会福祉概論、児童家庭福祉、社会福祉援助技術論、精神保健、障害者福祉論、社会保障論、公的扶助論、看護学、経済学、栄養学、教育心理学、発達心理学、学習心理学、以上の科目から3科目以上履修すること

心理・カウンセリングコース 履修モデル【D-1】

【D-1】公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学の知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデル

	1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ 2	基礎演習Ⅱ 2	総合演習Ⅰ 2	総合演習Ⅱ 2						
	教養科目		心の健康心の病 2								
	スキル科目	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2							
		コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2								
	キャリア科目										
	資格取得科目										
	単位小計	6	6	2	2	0	0	0	0	16 /32	
専門科目	基礎科目	人間学概論 2									
		人間と心理 2									
	基幹科目	教育心理学 2	人間関係論 2	発達心理学 2	学習心理学 2		精神保健 2				
		健康スポーツ心理学 2									
	展開科目	集団心理学 2		臨床心理学 2	カウンセリング概論 2	福祉心理学 2	教育相談 2	カウンセリング演習 2			
			認知心理学 2	教育心理学実験実習 1	カウンセリング基礎演習 2	心理検査法 2					
				心理統計学 2	障害者心理学 2	心理学研究法 2	社会心理学実験実習 2				
ゼミナール					専門演習Ⅰ 2	専門演習Ⅱ 2	専門演習Ⅲ 2	専門演習Ⅳ 2	卒業研究 4		
単位小計	8	2	8	7	10	12	2	6	55 /84		
履修単位数合計	14	8	10	9	10	12	2	6	71 /124		

認定心理士資格取得に関連する科目:心の健康・心の病、臨床心理学、人間と心理、教育心理学、発達心理学、健康スポーツ心理学、人間関係論、教育心理学実験実習、学習心理学、カウンセリング概論、認知心理学、心理統計学、カウンセリング基礎演習、教育相談、心理学研究法、集団心理学、精神保健、カウンセリング演習、社会心理学実験実習、心理検査法、福祉心理学、障害者心理学

心理・カウンセリングコース+教職履修モデル 【D-2】

【D-2】 中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデル

	1年次(2017年度)		2年次(2018年度)		3年次(2019年度)		4年次		修得単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
全学共通科目	東邦基礎力科目	基礎演習Ⅰ 2	基礎演習Ⅱ 2	総合演習Ⅰ 2	総合演習Ⅱ 2						
	教養科目	(憲法)	憲法 2								
		ボランティア論 2 (健康スポーツ実習)	健康スポーツ実習 2 心の健康心の病 2								
	コミュニケーション科目	外国語 2	外国語 2								
	コンピュータリテラシー科目	入門コンピュータ 2									
	キャリア科目										
	資格取得科目										
単位小計	8	10	2	2	0	0	0	0	22 /32		
専門科目	基礎科目	人間学概論 2									
		人間と心理 2									
		教育学概論 2									
	基幹科目	解剖学 2				健康スポーツ心理学 2					
		生理学 2					精神保健 2				
		教育心理学 2	人間関係論 2	発達心理学 2	学習心理学 2						
	展開科目			運動生理学 2	トレーニング実習 1						
				バイオメカニクス 2							
				救急処置法 2							
				トレーニング科学 2		スポーツ社会学 2					
		スポーツ原理 2	衛生学 2	スポーツマネジメント 2	学校保健 2						
			総合野外活動実習Ⅰ※1(キャンプ) 1	総合野外活動実習Ⅲ※1(スキー) 1	総合野外活動実習Ⅱ※1(マリソ) 1						
			専門スポーツ実習(水泳) 1	臨床心理学 2							
専門スポーツ実習(器械運動) 1		専門スポーツ実習(陸上競技) 2	専門スポーツ実習(剣道) 1	専門スポーツ実習(ダンス) 1	専門スポーツ実習(柔道) 1	専門スポーツ実習(球技) 2					
		小児保健論 2			福祉心理学 2						
集団心理学 2			臨床心理学 2	カウンセリング概論 2	教育相談 2	カウンセリング演習 2					
		認知心理学 2	教育心理学実験実習 2	カウンセリング基礎演習 1	心理検査法 2						
			心理統計学 2	障害者心理学 2	心理学研究法 2						
				認知心理学 2	社会心理学実験実習 2						
ゼミナール					専門演習Ⅰ 2	専門演習Ⅱ 2	専門演習Ⅲ 2	専門演習Ⅳ 2	卒業研究 4		
単位小計	15	8	18	13	22	16	2	6	100 /84		
履修単位数合計	23	18	20	15	22	16	2	6	122 /124		
教職に関する科目		教職概論 2	教育経営論 2	教育経営論演習 2	保健体育教育法Ⅰ 2	保健体育教育法Ⅱ 4	教育実習研究Ⅱ 2	教職実践演習 2			
		道徳教育論 2	教育課程論 2	特別支援教育論 2	教育方法論 2	特別活動研究 2	教育実習Ⅰ(教育実習Ⅱ)※2 4				
教職科目単位数合計	0	4	4	4	4	6	2	2	30		

※1: 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中2科目を選択 / ※2: 教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

認定心理士資格取得に関連する科目:心の健康・心の病、臨床心理学、人間と心理、教育心理学、発達心理学、健康スポーツ心理学、人間関係論、教育心理学実験実習、学習心理学、カウンセリング概論、認知心理学、心理統計学、カウンセリング基礎演習、教育相談、心理学研究法、集団心理学、精神保健、カウンセリング演習、社会心理学実験実習、心理検査法、福祉心理学、障害者心理学

人間健康学部人間健康学科 卒業要件

<2016~2017年度入学生適用>

授業科目群		必修	選択必修	選択	卒業要件単位数	
全学共通科目	東邦基礎力科目	8単位	-	18単位以上	32単位以上	
	教養科目	-	-			
	スキル科目	外国語科目	-			4単位
		コミュニケーション科目	-			-
		コンピュータ科目	2単位			-
キャリア科目	-	-				
専門科目	基礎科目	2単位	4単位	58単位以上	84単位以上	
	基幹科目	-	12単位			
	展開科目	-	-			
	関連科目	-	-			
	ゼミナール	8単位	-			
開設科目全域		-	-	8単位以上	8単位以上	
合計		20単位	20単位	84単位以上	124単位以上	